

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
名古屋ビューティーアート専門学校	平成14年3月29日	古淵 泰弘	〒451-0042 愛知県名古屋市西区那古野2-12-10
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、教育基本法に則し、学校基本法に従い、美容師、ビューティーアドバイザーとして美容業に従事しようとする者に必要な知識・技術を教授し、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
美容科	2年	175名	350名
ヘアメイク科	2年	140名	280名
トータルビューティー科	2年	160名	320名
エステティック科	2年	40名	80名
美容研究科	1年	36名	36名

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

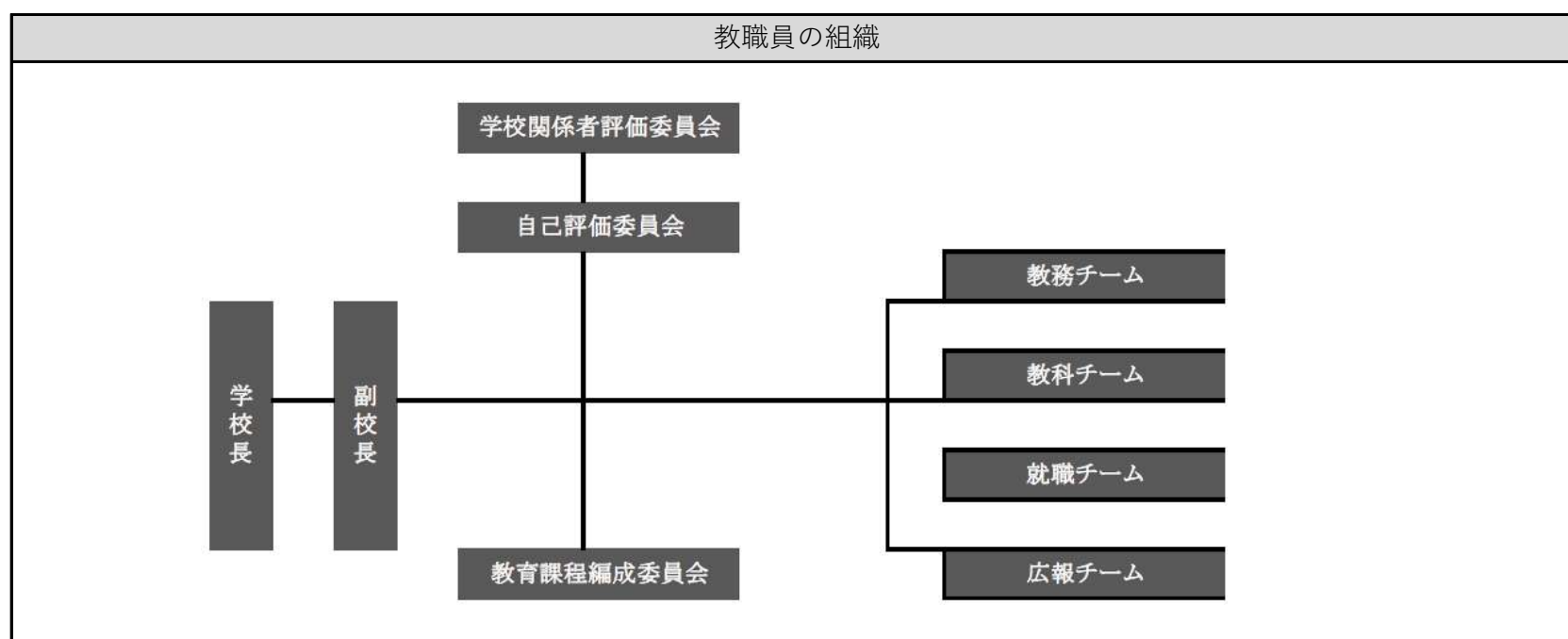
卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に定める所定の単位は、卒業要件として配当科目に示すとおりとする。	
美容科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材
ヘアメイク科	美容師国家資格を取得し、ヘアメイク技術を通して社会で活躍する人材
トータルビューティー科	主体性・多様性・協働性を身につけ、様々な美容現場で活躍する人材
エステティック科	職種に応じ必要とされる資格を取得し、エステティック技術を通して社会で活躍する人材
美容研究科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/jobdata/

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	37
兼任教員	63
事務職員	4



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
竹内 和美	衛生管理	岩手大学 卒業 獣医師免許
田中 久美子	メイク実習	愛知淑徳大学文学部国文科 卒業
小木曾 朗子	美容実習	北九州理容美容専門学校 卒業 美容師免許 美容師養成施設 教員資格 美容技術理論 美容師養成施設 教員資格 美容実習 美容師養成施設 教員資格 美容文化論 美容師養成施設 教員資格 化粧品化学
松岡 紗登子	エステ実習	関西外国語大学 卒業 AJESTHE認定講師 CIDESCOインターナショナルエステティシャン CIDESCOアロマセラピスト CIBTAC解剖生理学 トータルエステティックアドバイザー 日本エステティック業協会認定講師
川瀬 智仁	美容座学	札幌ビューティーメイク美容専門学校 卒業 美容師免許 美容師養成施設 教員資格 美容技術理論 美容師養成施設 教員資格 美容実習 美容師養成施設 教員資格 衛生管理 美容師養成施設 教員資格 保健

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/couse/practice/
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した施設実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p><美容科 施設実習></p> <p>10日間の体験実習を行う。サロン業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。</p> <p>終了後には振り返りを実施し、能力・生活態度・実習態度の10項目について、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/schoolguide/
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応

担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。
また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。
また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/nagoya-beauty/guideline_2025/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---